

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.155

いけだ市議会だより

平成29年(2017年)8月1日



石橋保育所にて

5月臨時会 2

正副議長あいさつ

各委員会委員一覧 3

6月定例会 4

決議・意見書 4

議会日誌 4

議決結果 5

一般質問 6**委員会レポート** 11

やまばと 11

辞職勧告決議 12



臨時会は、5月15日に開会し、まず、市長から報告案件3件と人事案件2件が提出され、いずれも承認・同意しました。
その後、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任し、閉会しました。
なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶



議長
山田 正司



副議長
白石 啓子

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、5月の臨時会におきまして、第76代の議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様の信頼に応えるべく、全力を傾注してまいる所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

まずは昨年、本市の現職市議会議員が、逮捕・起訴されるという前代未聞の事態が発生したことに對し、改めてお詫び申し上げます。市議会では、5月の臨時会におきまして、羽田達也議員に対し、昨年11月に続いて2度目の辞職勧告決議を全会一致で可決しました。今後とも、市民の皆様の声を広く

市政に反映させる重要な役割を担う市議会として、羽田達也議員に對し出処進退を誤らず、早急に辞職することを求めるとともに、市民の皆様の信頼回復に努めてまいります。

さて、我が国の経済に目を向けますと、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いていると言われているものの、個人消費の大幅な伸びにはつながっておらず、デフレ脱却・景気回復に向けて経済の好循環をより確かなものとするのが求められています。

本市におきまして、市税収入の大幅な回復は期待できず、社会保障関係費の増加などにより、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれています。

このような中、学校給食センターの建設や、共同利用施設の再編整備など、議決機関として大きな役割を發揮していかねければならない懸案事項が山積しております。これまで同様、市民の皆様の声を第一に考え、安全・安心に暮らせるまちづくりに全身全霊を傾けて努力してまいります。

どうか今後とも、市民の皆様方のより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に

小林 義典 議員

今回、議会選出の監査委員に、小林義典議員を選任しました。

監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

本会議・委員会を

傍聴しましょう

本会議・委員会は誰でも傍聴できます。

本会議は、市役所4階傍聴席入口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

本会議を傍聴される方への手話通訳も行っておりますので、ご希望の方は、事前（概ね5日前まで）に議会事務局まで申し込んでください。

委員会は、傍聴席の関係で5人まで傍聴できます。

なお、5人を超えた時は、別室で音声を聞くことができます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常 任 委 員 会

◎委員長 ○副委員長 ()所属会派 議席順

総務委員会

定数 6



◎前田 敏
(民社クラブ)



○石田 隆史
(大阪維新の会池田)



荒木 真澄
(公明党)



藤原 美知子
(日本共産党)



◎山田 正司
(市民クラブ)



きのした かつしげ
(自民同友会)

文教病院委員会

定数 6



◎馬坂 哲平
(公明党)



○三宅 正起
(市民クラブ)



はだ たつや
(無所属)



はま ち しんいちろう
(自民同友会)



なか た まさのり
(市民クラブ)



しらishi けいこ
(日本共産党)

厚生委員会

定数 5



◎小林 義典
(自民同友会)



○倉田 晃
(自由クラブ)



こばやし よしみつ
(日本共産党)



た だ りゅういち
(公明党)



わたなべ ちかふさ
(市民クラブ)

土木消防委員会

定数 5



◎川西 二郎
(市民クラブ)



○西垣 智
(自由クラブ)



とみ た ひろき
(大阪維新の会池田)



ないとう まさる
(民社クラブ)



ほそ い かおる
(自民同友会)

議 会 運 営 委 員 会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委 員 氏 名
6	◎山田 正司 ○白石 啓子 小林 義典 多田 隆一 藤原美知子 渡邊 千芳

特 別 委 員 会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委 員 会 名	定 数	委 員 氏 名
空港・交通問題調査 特 別 委 員 会	6	◎多田 隆一 ○中田 正紀 西垣 智 小林 義典 内藤 勝 川西 二郎
まちづくり防災 特 別 委 員 会	7	◎浜地慎一郎 ○富田 裕樹 小林 吉三 羽田 達也 渡邊 千芳 馬坂 哲平 木下 克重
市議会だより編集 特 別 委 員 会	7	◎三宅 正起 ○藤原美知子 荒木 真澄 倉田 晃 石田 隆史 前田 敏 細井 馨

6月定例会

6月定例会は、6月5日に開会し、市長から報告案件5件と議案4件並びに人事案件4件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

6月26日・27日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、15人の議員が一般質問を行い、活発な議論の後、6月定例会を閉会しました。

一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

本年3月の定例会において可決し、予算措置された、国の「未来への投資を実現する経済対策」に伴い創設された、地方創生拠点整備交付金を活用した事業などの予算を本年度に繰り越したことが報告されました。

繰り越した事業としては、旧伏尾台小学校改修事業のほか、小・中学校のトイレ改修事業、幼稚園、中学校の空調機器整備事業、防災情報システム構築事業などが含まれます。

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に使用することができ、経費のことです。

国民健康保険特別会計補正予算の報告

国民健康保険特別会計の平成28年度決算見込みにおいて、歳入が歳出より不足するため、3億9400万円を追加補正し、平成29年度予算から繰り上げ充用したことが報告されました。

決議・意見書

6月定例会においては、次の決議・意見書を採択し、関係機関に送付しました。

- 「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議（賛成多数）
- 「核兵器禁止条約」の実現を求める意見書（全員異議なし）

永年勤続議員表彰

去る5月24日の全国市議会議員会総会において、白石啓子副議長、藤原美知子議員が10年勤続表彰を受けました。

全員協議会を開催

6月26日に全員協議会を開催し、羽田達也議員に対し、療養費詐欺事件に関する経過等について説明を求めました。質疑の中で、議員辞職の意思を問いましたが、「辞職する意思は全くない」と答えました。

議会日誌

5月8日	各派代表者会議
5月12日	各派代表者会議
5月15日	市議会臨時議会
6月2日	各派代表者会議 議会運営委員会
6月5日	各派代表者会議 市議会定例会
6月8日	市議会たより編集 特別委員会
6月14日	土木消防委員会
6月15日	文教病院委員会
6月16日	総務委員会
6月26日	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
6月27日	全員協議会 市議会定例会 議会運営委員会
7月12日	市議会たより編集 特別委員会
7月18日	市議会たより編集 特別委員会
7月21日	空港・交通問題調査 特別委員会
7月25日	まちづくり防災 特別委員会

○市長提出議案及び議決の結果（5月臨時会・6月定例会）

議 案 名	議決の結果	議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の専決処分について	報 告	平成28年度池田市一般会計繰越明許費 繰越計算書について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市市税条例の一部改正について	承 認 (全員異議なし)	池田市附属機関条例の一部改正について	原 案 可 決 (全員異議なし)
処分報告について 専決第2号 平成28年度池田市一般会計補正予算（第11号）	承 認 (全員異議なし)	池田市堂石橋住宅建替建設工事請負契約の締結について	原 案 可 決 (全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意 (全員異議なし)	動産の取得について	原 案 可 決 (全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全員異議なし)	池田市公平委員会委員の選任について	同 意 (全員異議なし)
処分報告について 専決第3号 平成29年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	承 認 (全員異議なし)	池田市農業委員会委員の任命について	同 意 (全員異議なし)
平成28年度池田市水道事業会計予算繰越計算書について	報 告	池田市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全員異議なし)
平成28年度池田市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	報 告	財産区管理委員の選任について	同 意 (全員異議なし)
平成28年度池田市一般会計継続費繰越計算書について	報 告	平成29年度池田市一般会計補正予算（第2号）	原 案 可 決 (全員異議なし)

○議会・議員提出議案及び議決の結果（5月臨時会）

議 案 名	議決の結果	議 案 名	議決の結果
議長辞職の許可について	許 可 (全員異議なし)	常任委員会委員長の選任について	選 任 (全員異議なし)
議長の選挙について	終 結	常任委員会副委員長の選任について	選 任 (全員異議なし)
副議長辞職の許可について	許 可 (全員異議なし)	大阪府都市競艇企業団議会議員の選挙について	終 結
副議長の選挙について	終 結	特別委員会委員の選任について	選 任 (全員異議なし)
議会運営委員会委員の選任について	選 任 (全員異議なし)	特別委員会委員長の選任について	選 任 (全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選 任 (全員異議なし)	特別委員会副委員長の選任について	選 任 (全員異議なし)

議会の予定

9月定例会は、右記の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

9月 5日(火) 本 会 議
9月11日(月) 委 員 会
9月12日(火) 委 員 会
9月13日(水) 委 員 会
9月15日(金) 委 員 会
9月27日(水) 本 会 議
9月28日(木) 本 会 議

お問い合わせは議会事務局
(電話) 754・6170

市内にお住まいの視覚障がいのある方（障がい者手帳をお持ちの方）に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。

「声の市議会だより」を
郵送で貸し出します



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行います。
 今回は15人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをただしました。
 主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

羽田議員は辞職すべきか

(自民同友会)

問 昨年10月6日に、詐欺罪で逮捕された、元維新の会羽田達也議員は、本年4月の公判において起訴事実を認め、ほぼ有罪の見通し。しかし、いまだに議員辞職せず議員報酬を受け取っている現状は日本の歴史上あまり例のないことであり、池田市内外から批判されている。報酬を支払っている責任者である市長は、羽田議員に対してどうすべきであるか、伺う。

すぐに議員辞職すべき

答 逮捕され、現在は保釈されているが、起訴事実を認めたならすぐに議員辞職すべきと考える。

今後の財政展望は

(自民同友会)

問 現在、クリーンセンターの機能更新として新しい学校給食センターの建設など大きな予算が必要になるが、財政展望は。

健全財政を目指す

答 今後も財政需要に応えられるよう、その時代に即応した無駄のない徹底した行政改革を推進し健全な財政運営に努める。



決算書と事務事業評価の融合は

(大阪維新の会池田)

問 箕面市のように事務事業評価と決算書を融合した事業成果説明書を早期に作成すべき。市の現状把握・政策立案能力が向上し、市の成長に寄与できる。

成果が明快に把握できるよう作成

答 現在も決算額と財源情報の明快な把握に努めており、引き続き掲載内容に関する研究を続ける。

予算執行のチェック体制について

(自由クラブ)

問 財政資金の効率的・効果的な活用が求められる中、適切な予算の編成・執行だけでなく、事後の評価・検証、予算への反映というPDCAサイクルが重要と考えるが、職員によるチェックには時間的にも能力的にも限界がある。予算のチェック体制における外部の専門家の活用について見解を問う。

チェック体制の強化に努める

答 担当課がチェックすることは必須であるが、場合によっては外部専門家によるチェックも必要と認識。今後の検討課題とする。

支援システムの早期導入を

(自民同友会)

問 避難行動要支援者情報を地図上に表示し、支援が必要な方に適切な支援を行うためのシステムの導入が必要であると考えますが、具体的な導入計画について問う。また、機能として必要と考えるものは何か見解を問う。

システム導入に向け検討

答 避難行動要支援者の支援システム導入に向け、市の財政状況などを考えながら検討。必要な機能は、地図上で位置関係を把握でき、支援者との位置関係、さらには個別計画の管理等を考えている。



一般質問議員

今回一般質問を行った議員は、次のとおりです。

1	石田隆史	(大阪維新の会池田)
2	倉田晃	(自由クラブ)
3	中田正紀	(市民クラブ)
4	富田裕樹	(大阪維新の会池田)
5	荒木眞澄	(公明党)
6	西垣智	(自由クラブ)
7	小林吉三	(日本共産党)
8	小林義典	(自民同友会)
9	渡邊千芳	(市民クラブ)
10	馬坂哲平	(公明党)
11	浜地慎一郎	(自民同友会)
12	白石啓子	(日本共産党)
13	木下克重	(自民同友会)
14	藤原美知子	(日本共産党)
15	内藤勝	(民社クラブ)

(※質問順)

石橋新拠点整備と 市民窓口再開を

(日本共産党)

問 石橋地域の新しい拠点整備の計画がある。新拠点施設の機能について問う。また市民窓口の再開を望む声が大い。新拠点整備時に市民窓口の設置を求める。

市民窓口の再開は 状況を見て判断

答 新拠点は図書館及び共同利用施設の機能を持つ計画で平成31年に着工の見通し。市民窓口の再開は、今後の状況を見て判断したい。

まちの活性化の 主要施策について

(大阪維新の会池田)

問 「教育のまち池田」ならではの施策を打ち出すべき。一学部の池田市立大学社会イノベーション学部を創設すべき。市立図書館を拠点に、池田北高校跡地をキャンパスに活用。池田駅前、石橋駅前を再開発し、市全体を見通した一体的なまちづくりを。全国から世界から人を集める施策を打つべき。

池田北高校の 跡地活用を検討

答 池田北高校やほこく学園と連携しフレンドリーコンサートの開催等を行っている。市立大学設立については財源面等も含めて検討が必要と認識するところ。

栄町商店街の 活性化について

(自民同友会)

問 議論を繰り返しているインスタントラーメン発明記念館から城山町観光バス駐車場までの栄町商店街を経由する動線の確保を含む回遊策は確立されるのか。

活性化のため 各種団体と協議中

答 現在、商店街活性化のため、インバウンドを含めた観光客の誘導について各種団体と協議している。その他、池田版DMO構築に向けた準備を進めている中で、議論を重ねていく。

「笑い」の拠点整備を 検討しては

(公明党)

問 「笑い」とがん治療の研究が始まるなど、「笑い」の持つ力が見直されている。商店街の一角に

「笑い」や「素人芸」に気軽に触れ合うことができる場所をつくることを検討してみては。

「笑い」を多く 提供していきたい

答 「笑い」が健康にもたらす効果が注目を集めている。「落語のまち池田」として落語みゅーじあむに加えて、体験型も含めた「笑い」の場の創出や観光客にも気軽に楽しんでもらえる取り組みは重要と考えている。

池田版DMOの 進捗状況について

(大阪維新の会池田)

問 観光地域づくりを戦略的に取り組む池田版DMOについて、進捗を問う。

インフォメーションC 開設を予定

答 池田版DMOは、観光とまちづくりを一体的に推進する本市独自の組織体である。現在、観光客に街頭アンケートを実施しており、その結果に基づき計画を策定する予定。そして、池田版DMO協議体を設置し、池田駅にインフォメーションセンターを開設する。

今年の伝統の がんがら火祭りは (民社クラブ)

問 370年以上続く伝統の火祭り、がんがら火祭りが今年はいまづが2基から1基に、またはなくなるのではと言われている。伝統を守るため貢献してきた団体に保存会の会則改正で保存会会員は保存会会長が認めた人から城山町の住民(町会費納入者)とした。綾羽町や石橋地区の多くの担ぎ手が参加できない。補助金を出している市長の見解を問う。池田の宝・誇りであり続けてほしい。

370年の 伝統ある池田の宝

答 池田の宝であり宗教行事でなく伝統の祭りとして補助している。市制施行70周年の時に2基から1基ふやして3基をお願いをした。1基ふやすために、30人の担ぎ手確保を綾羽部会に頑張ってもらった。ここ10年綾羽部会を中心に秩序正しく運営してもらっている。保存会の会則変更で綾羽部会・井口堂部会の参加が得られないのではと危惧している。広報誌7月号で公募されるが若い力だけで担げるものではなく、綾羽部会の参加がないと難しい。370年の伝統

を守るためにお願いしたい。

コミュニティ・スクールの 現状は (市民クラブ)

問 「教育日本」を表明している本市として初のコミュニティ・スクールがほそごう学園で始動したが、現状を問う。

地域とのより強い 「絆」を感じる

答 学校運営協議会も幅広い見識者19名で設立し、教職員・児童・生徒がそれぞれに連携・交流を深め、多岐にわたる取り組みと授業実施を行っている。また、地域がより熱心に学校運営に携わってくださっている。今後も開かれた学校を目指していく。



少人数学級の さらなる拡充を (日本共産党)

問 学力や体力、いじめ・不登校対策にも効果を発揮している少人数学級の推進を、支援児童を含めたクラス編制で実施すること。

色々な施策の検討の中で 考えたい

答 国や府の動向を注視し、35人以下学級の早期拡大に向けて要望しつつ、支援児童を含めた35人学級の課題も勘案しながら検討する。

ほそごう学園 安全で安心な学校に (日本共産党)

問 雨が降ると渡り廊下等が雨漏りや結露で水浸しになる。ペランダの不具合、カビの発生等いろいろと問題がありすぎる。総点検の上修理をするべきではないか。

総点検し 不具合は修正

答 せっかく新しい学校で、特認校にして、ほそごうに来てくださっているのに不具合があつてはならない。市長の責任で徹底的に調査して不具合は修正する。

部活動の プール利用について (自民同友会)

問 中学校水泳部の冬季練習場所として、五月山体育館のプールを活用していこうという計画だが、どのように進められる予定なのか。計画内容について問う。

体育館プールを 積極的に活用

答 中学校の部活動はもとより、水泳指導に力を入れている小学校の授業や行事での活用など、五月山体育館のプールの積極的な使用について調整していく。

中学校の 運動系課外活動について (自由クラブ)

問 多忙化する教員の業務に加え課外活動の顧問をすることは、負担増になるが、指導を受ける生徒にとつては、将来を左右する重要なことでもある。両方の観点から、中学校の運動系課外活動の指導をどのように考えているか問う。



生徒の心身の発達に 応じた指導

問 学校教育の一環として教育課程との関連を図りつつ、生徒の心身の発達に応じた活動計画に基づいて指導している。

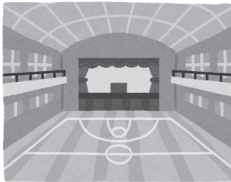
体育館の老朽化対策 用具の更新を

(日本共産党)

問 体育館の老朽化・耐震化対策の検討状況を問う。バドミントンネット固定器具で負傷事例があり安全な器具への更新を求める。省エネ化とあわせ、スポーツセンターの暗い照明などの改善を求める。

ネット固定器具は 順次取りかえ中

答 スポーツセンターは耐震診断、五月山体育館は建物診断を予定。この結果を踏まえ対策を検討。ネット固定器具は、順次新しいものへの取替等の対応を行っている。照明は十分な照度があると認識、省エネ化は必要性に応じ検討。



市立池田病院の 産婦人科の展望は

(自民同友会)

問 出産に対する環境整備が急務だと感じる。市内で分娩ができるのは、池田駅前の助産院と市立池田病院だけだが、今後の展望は。

分娩件数の 増加を目指す

答 現在、予約制を導入しているが分娩件数は年々減少傾向にある。10月から料金の見直しを予定しており、病棟のインテリア改修のほか、例えば食事券のプレゼントなど新たな企画を検討し、年間の分娩件数300件を目指す。

「おせっかい」で 地域福祉を

(市民クラブ)

問 地域福祉の担い手は地区福祉委員、民生委員、自治会役員など地域自治・地域福祉を率先して行っている人である。また全国的に「おせっかい」が見直されている。あしき「おせっかい」でなく、新しい感覚の「おせっかい」が必要とされている。地区福祉委員などに新しい感覚の「おせっかい」支援を啓発して、地域で介護や子育てで困っている人のサポート役に

なれるような仕組みづくりを行い、すばらしい地域包括ケアシステムを構築していただきたい。

地域で「おせっかい」の 話もする

答 地区福祉委員の皆様には、既に高齢者、子ども、障がい者のサポートをしていただいているが、より多くの方に「おせっかい」感覚を持って参加していただくことが地域共生社会につながると考えている。今後は各地域での地域福祉計画に関する説明会・座談会の中で、「おせっかい」感覚を取り入れながら、地域包括ケアシステムの構築に努める。

新たな交通手段の構築を

(公明党)

問 超高齢社会を見据えた、高齢者の生活の質を落とすことなく、高齢者が安全に、安心して外出ができるような、新たな交通手段の構築を図るべきと考えるが、見解を問う。



コミュニティバス構想 含めて検討

答 現在、高齢者施策として施設循環福祉バスを運行中。今後、どのような路線網が本市に有効か調査をしつつ、コミュニティバス構想も含めて検討していく。

デマンドバスで 住民の足の確保を

(日本共産党)

問 バス減便により病院の診察時間や買い物等に支障が出ている。予約をすれば利用できる、小型のデマンドバス等の制度をつくり、住民の足の確保を図ってはどうか。また、福祉バスの停留所に行先表示を行い利便性を高めてはどうか。

幾つかの例を参考に 取り組みたい

答 福祉バスとの連携を模索しながら、埼玉のデマンドバスを参考に2020年度を目標に来年度から幾つかの例を参考にし取り組みたい。

福祉バスの行先表示は、様々な要件を整備し、どのような工夫ができるか分析させていただきたい。

市民後見人の 支援体制について

(自由クラブ)

問 市民後見人の養成・活用を進めるためには支援体制整備が必要と考える。その中で外部の専門家との連携について見解を問う。

幅広い連携による 支援体制を構築

答 支援のネットワークの構築が重要である。裁判所・弁護士会・税理士会・司法書士会・その他NPO法人など幅広い連携のもと広域的な視点から支援できる体制構築に努める。

子どもの医療費助成 18歳迄拡充を

(日本共産党)

問 18歳までの医療費助成は、寝屋川市を初め、豊能町、能勢町、守口市等、箕面市は「子育てしやすさ日本一」を目指して4月から大阪市は11月から実施する。摂津市は22歳まで実施。全国で15歳以上の助成実施は当たり前になっている。「子ども子育て日本一」を目指す池田市として18歳まで早期に拡充を求める。

来年度以降の予算で検討

答 来年度以降の予算において、教育や子ども・子育て支援の充実を目指す施策の中で検討していく。

健康寿命を延ばすための 制度創設

(公明党)

問 健康寿命を延ばせば、個人も家族も、そして医療・介護保険会計にも大きなメリットがある。実現するための政策として「健康ポイント制度」の創設を提案したい。

財政効果も期待でき 検討したい

答 健康寿命を延ばすことは、大きな財政効果が期待できる。住民健診やがん検診のほか市民の健康増進にも活用できるので、これから検討していきたい。

タバコに関する 権利について問う

(市民クラブ)

問 タバコを吸う権利、吸わない権利を考えると喫煙スペースの増設や「池田市美しいまち推進条例」を一步前進させて、駅周辺地区を路上喫煙防止地区に指定する等の対策ができないか問う。

お互いの立場を 考慮して配慮

答 タバコに関する時代の変化は、分煙から禁煙へ移行していると思われるが、喫煙者の立場も考えつつ、路上喫煙防止地区の設置を検討していく。

街路灯LED化の 成果と今後

(大阪維新の会池田)

問 国の補助金を利用し、平成28年度末で市内約6千カ所の街路灯をLED化した。その成果と今後について問う。

電気代等で 約2千5百万円の節約

答 本事業により、夜道が明るくなり、経費も大幅に削減する見通し。今後は未整備である地下道のLED化を進めていく。また私道部分の街路灯は、過去に大半が自治会より本市に移管されているため、既にLED化している。

救急体制の拡充は 喫緊の課題では

(公明党)

問 これからの救急件数の増加に伴い、救急車の台数と救急救命士の増員の必要性はかなり高く、ま

さしく、喫緊の課題では。

効率的な救急体制構築を 検討

答 今後、高齢者の人口割合の増加に伴い、救急件数も増加するものと認識。本市の財政状況は依然として厳しいが、池田市民の安全・安心を守るためにも、救急車及び、救急救命士の増隊、増員の必要性も含めた、効率的な救急体制構築を今後もさらに検討する。

密集地域火災発生時の 消火体制は

(自由クラブ)

問 石橋駅周辺は、火災が発生すると消火活動が困難な地域と思われるが、万が一、火災が発生した時の消火体制を問う。

火災面を包囲する 消火体制をとる

答 石橋商店街については、西側アーケード内の連結送水管を活用し、アーケード上部から消火及び延焼防止を図り、災害対応特殊消防ポンプ車等を活用し、地上からの消火戦術をとる。他の密集地域は主要道路に消防車を停車し、火災面を全包围する消火戦術をとる。

委員会 レポート

6月定例会では、4件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

6月26日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。
各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

いけだまつり開催5周年の記念イベントの内容は

〈一般会計補正予算〉

問 地域活性化センター助成金を活用し、いけだまつり開催5周年を記念してのイベントへの補助金100万円を予算計上しているが、イベントの内容について問う。

織り姫伝説をテーマにステージイベントを行う予定

答 いけだまつり実行委員会が検討することになるが、織り姫伝説をテーマに伊居太（いけだ）神社と呉服神社を結ぶ動線を活用したパレードや太鼓の演奏などのステージイベントを行うと聞いている。

文教病院委員会

新学校給食センターの
開業までのスケジュールは

〈一般会計補正予算〉

問 新学校給食センター開業までのスケジュールについて問う。

平成31年4月の開業が目標

答 測量業務については10月をめぐって完了し、その後、地権者との協議を進めていく。建物の設計業務についても今年度内に行う予定で、平成30年度中に建設工事を完了し、平成31年4月の開業を目指す。

厚生委員会

障がい児に対して
取り組むべき課題は

〈附属機関条例の一部改正〉

問 法改正に伴う今回の条例改正では、障害児福祉計画を各自自治体で策定することになったが、こうした制度設計以外に障がい児に対して取り組むべき課題があるのか。

制度設計や地域の協力に加え
国からの財源補填が必要

答 基礎自治体がさらに責任を持つて福祉施策を推進するためには、制度設計や地域の協力とともに国から財源補填が必要であり、特に障がい児福祉を含む障がい福祉施策と子育て支援施策については必須である。

土木消防委員会

市営石橋住宅建て替え工事
プロポーザル方式の利点は

〈市営石橋住宅建替建設工事請負契約の締結〉

問 工事請負契約において、一般的な競争入札ではなく公募型プロポーザル方式により事業者選定を行ったことのメリットは。

一括発注による
コスト削減や工期短縮

答 民間事業者のノウハウや活力を活かせる公募型プロポーザル方式による事業者選定を行ったが、メリットとしては一括発注によるコスト削減や工期短縮、さらには各業者間での調整後に市が打ち合わせに入ることができるため、事務負担の軽減などが挙げられる。

やまばと

市民の皆様には、日頃から池田市議会の活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

5月の臨時会で役員改選が行われ、正副議長をはじめ、常任委員会、特別委員会を含めた平成29年度の議会構成が決定いたしました。市議会だより編集特別委員会も今回から新たなメンバーとなり、心機一転、より分かりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。今後「いけだ市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。



市議会だより編集特別委員会

委員 長	三宅 正起	委員	田中 史敏
副委員長	藤原美知	委員	石前 隆
委員	荒木 眞	委員	細井 隆
委員	倉田 晃		

羽田達也議員に対し辞職勧告を再度決議

市民に対する背信行為であり辞職すべき（市民クラブ）

療養費詐欺に関与しながら選挙に出馬したことは、池田市民に対して背信行為以外の何物でもない。大阪維新の会にも大きな責任があるが謝罪もない。市民に果たすべき議員活動もせず、市民の大切な税金で議員報酬をいただくことに罪悪感はないのか。市民のためにも今すぐ辞職すべき。

市民を軽視しており直ちに辞職すべき（自民同友会）

昨年11月に辞職勧告決議を全会一致で議決した。これは議員はもとより、議員の支持者も辞職すべきと判断した結果であり、議員を続けることは、市議会並びに市民を軽視している。議員としてやりたいことがあるのなら、直ちに辞職し罪を償った後、改めて市民に信を問うことが道理。

起訴事実を認めるなら即刻辞職すべき（公明党）

公のお金を詐取するという事実を隠蔽し、市議会議員に立候補したこと自体、ゆゆしきことであり、言語道断。大切な一票を投じた2,288名に対する侮辱も甚だしい。自身の起訴事実を認めるならば、いま一度市議会議員という職務を真摯に見詰め、責任をとって即刻辞職すべき。

即刻辞職すべきであり維新にも責任あり（日本共産党）

詐欺という犯罪を行ったことを認め、判決を受けようとする者が議員を続けることは、社会的、道義的責任を負う公職者として許されない。即刻辞職すべき。離党したとはいえ、大阪維新の会は、公認した議員に対する問題には、調査し、市民に説明をし、毅然とした処分を行う責任がある。

潔く辞職し市民の信を問うべき（民社クラブ）

羽田議員は昨年4月の代表者会議で、一切関与はしていない、関与が事実であるならば議員辞職も考えたと発言している。本年4月の公判で起訴事実の大半を認めたのであれば、代表者会議で発言したように辞職すべき。潔く辞職し、2年後の市議会議員選挙で市民の信を問うべき。

再度、元同会派としておわび申しあげる（大阪維新の会池田）

再度、元同じ会派として、市民の皆様にも多大な御迷惑をお掛けしたことを深くおわび申しあげる。起訴事実を認めたのであれば、速やかに議員の職を辞するのが当然であり、それが社会の常識。2度目の辞職勧告決議をしなければならないのは誠に遺憾。一刻も早くみずから辞職すべき。

潔く辞職し人のため役立つ人物に（自由クラブ）

起訴事実の大半を認めたということは、選挙出馬時点で、既に療養費詐欺に関与していたということ。市民感覚的には当選そのものが無効であり、当然辞職すべき。潔く辞職し、時間をかけて信頼回復に努め、議員に限らず池田市のため、世のため人のために役立つ人物になってもらいたい。

5月臨時会において、羽田達也議員に対し、昨年11月に続き、2度目の辞職勧告を全会一致で決議しました。

羽田達也議員については、昨年4月、自身が経営していた整骨院で保険金をだまし取ったとする事件への関与が疑われる報道があり、10月に逮捕・起訴されました。本市議会では11月に辞職勧告を決議しましたが、辞職はせず、本年5月の保釈後も辞職の意思がないため、再度、辞職勧告を決議するに至りました。

再決議までの経緯

平成28年12月22日

・議員逮捕時の議員報酬等の支給停止等の規定を追加した、議員報酬等に関する条例を全会一致で可決

平成29年5月2日

・保釈

平成29年5月12日

・各派代表者会議を開催し、羽田達也議員より事情聴取

平成29年5月15日

・臨時会において、「羽田達也議員に対する辞職勧告決議」を全会一致で再度議決

羽田達也議員に対する辞職勧告決議

昨年11月7日、池田市議会は、平成28年第2回臨時会を開き、「羽田達也議員に対する辞職勧告決議」を全会一致で可決した。しかし、それ以降今日まで自ら議員の職を辞することなく、誠に遺憾と言わざるを得ない。

報道によれば、本年4月26日に大阪地裁において公判があり、羽田達也議員は被告として「社長辞任までの刑事責任は認める」と述べ、それまでの無罪の主張から一転して起訴事実の大半を認めたとのことである。

昨年11月の臨時会から今日まで、池田市議会議員として本来果たすべき説明責任を全く果たしていないことに加え、社長辞任までの刑事責任に係る起訴事実の大半を認めたことを鑑み、以下の理由を申し添えて、再度、羽田達也議員に対し、辞職勧告を行う。

まず、平成27年4月26日執行の池田市議会議員選挙において、療養費詐欺に関与していながら選挙戦に出馬したことは、池田市民に対して背信行為以外の何ものでもない。

また、療養費詐欺に関与していながら20カ月もの間、議員報酬を受け取っていたことは議会に対しての背信行為であり、市民の納得を決して得られるものではない。

さらに、昨年4月に開催した各派代表者会議において、羽田達也議員本人が自らの関与を一切否定し、無実であることを明言していたが、今になればその場限りの全くの虚偽の発言であり、そのときの各派代表者会議のみならず、池田市議会の権威をないがしろにする由々しき対応であるとともに、その席上、仮に疑われるような事態になれば、説明責任を果たすとともに、自ら議員を辞する決意を述べていたにもかかわらず、今日までいずれも実行されていない。

加えて、本人の勾留中に議長が二度にわたり足を運び接見しているにもかかわらず、保釈になった時点で一切連絡をしていない事実から考えても、池田市民が選出した議員によって構成されている市議会を、あまりにも軽視していると判断せざるを得ない。

よって、本市議会は、再度、羽田達也議員に対し、自ら議員の職を辞することを強く勧告する。

以上、決議する。

平成29年5月15日

池田市議会